

＜減損損失の認識に至った経緯に関する事例＞

ケース１）経理の状況≫連結財務諸表等≫連結財務諸表≫注記事項（連結）≫連結損益計算書関係

減損損失

（～省略～）

減損損失の認識に至った経緯

今後の事業計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しました。また、在外連結子会社の一部の事業用資産及びのれんについて、市場環境等の悪化により当初想定した収益が見込めなくなったため、帳簿価額を全額減損し、減損損失として計上しております。

（～省略～）

ケース２）経理の状況≫連結財務諸表等≫連結財務諸表≫追加情報

減損損失

（～省略～）

減損損失の認識に至った経緯

遊休不動産等については、市場価格が簿価を下回る資産について、減損損失を認識しました。

（～省略～）